



とうおん

議会だより

2011年
第20号

平成23年2月1日発行



東温市駅伝大会



- ② 年頭挨拶
- ③～⑤ 12月定例会
補正予算・質疑
- ⑤ 決算審査特別委員会報告
- ⑥～⑪ 一般質問

- ⑫ 討論・11月臨時会
- ⑬ 委員会構成・特別委員会報告
- ⑭～⑮ 委員会報告
- ⑯ がんばる企業 (株)あらた

年頭のごあいさつ

より身近な議会、開かれた議会を目指して



議長 大西 勉



副議長 玉乃井 進

明けましておめでとう
市民の皆様におかれま
しては、輝かしい新春を
健やかに迎えのこと
と、謹んでお慶び申し上
げます。昨年中は、市議
会活動に對しまして、温
かいご支援と多大なるご
協力を賜り、心から厚く
お礼を申し上げます。

さて、昨年11月の議会
選挙により私達兩名が正
副議長の重責を担わせて
いただくこととなりました。
また、2年の任期を
迎えた常任委員会・議会
運営委員会委員の構成替
えも併せて実施し、議会
は体制を一新して残り2
年の任期に全力で取り組
むことと致しました。

より身近な議会、また
開かれた議会を目指し、
議会・議員はどのよう
にあるべきか、しっかりと
足元を見つめ直し、市民
の皆様への信託にこたえら
れるよう、議長としてしつ
かりとリーダーシップを
発揮してまいれる所存でご
ざいます。

東温市議会では、歴代
の議長を中心として議員
定数削減や費用弁償の廃
止などに積極的に取り組
んでおり、まずは議会自
らが態度で示すことで、
行政全体の無駄を減らす
ことに繋げたいと考えて
おります。

また、昨年の6月定例
会において「議員定数等
調査特別委員会」を設置
し、県内他市の現状や動
向、また市民の皆様のご
意見などを踏まえつつ、
議員定数のあり方につ
いて調査研究を進めてい
るところでございます。

これに伴い議会並びに
議員の果たすべき役割や
責務の重要性は、ますま
す高まっております。
議会の役割として、予
算案などを議決するだけ
ではなく、行政へのけん
制や監視、政策を提案し
ながら、同時に議員自ら
が条例案を立案するな
ど、市民の皆様への声を行
政に反映させていくこと
が強く求められています。

謹賀新年

皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。
本年もよろしくお願い申し上げます。

佐伯 強 玉乃井 進
片山 益男 桂浦 善吾
大西 佳子 佐伯 正夫
伊藤 隆志 山内 孝二
三棟 義博 大西 勉
安井 浩二 近藤千枝美
丸山 稔 渡部 伸二
酒井 克雄 相原真知子
細川 秀明 平岡 明雄

◎公職選挙法により
年賀状(答礼のため
の自筆によるもの以
外)を出すことは禁
止されており、議会
だよりにて新年のご
挨拶をさせていただきます。



12月定例会



氷結した白猪の滝

平成22年度一般会計総額は141億4,559万円に

一般会計 12月補正予算 5億3,369万円を追加

一般会計補正予算に 計上された主な事業

12月定例会が11月30日
から12月14日までの15日
間の会期で開催された。
市長提案の一般会計補
正予算等の14議案(補正
予算7件、条例改正5件、
その他の議案2件)、議
員提出議案4件(意見書
案)、請願6件並びに継
続審査議案11件(平成21
年度決算認定10件、発議
1件)について、慎重に
審議を行なった。
また、8人の議員が一
般質問を行なった。

- 議員報酬等
・議員の報酬及び期末手
当支給割合の改正によ
る補正 △123万円
- 職員給与費
・給与改定、新陳代謝及
び共済負担金率の改定
による補正 1,038万円
- 特別職給与費
・特別職の給料及び期末
手当支給割合の改正に
よる補正 △42万円
- 総務関連一般管理費

- 臨時職員の社会保険料
126万円
- コミュニティ施設整備
事業補助金
・地区公園遊具及び放送
設備の改修費に対する
補助
◆南上地区みんなの広
場遊具(志津川区)
◆田窪団地集会所遊具、
地区公園遊具(田窪
団地)
◆竹の鼻集会所遊具
(南方東区)
◆牛洲団地地区放送設
備(牛洲団地)
40万円
- 財政調整基金費
・歳計剰余金の財政調整
基金への積立金の補正
2億9,658万円
- 減債基金費
・減債基金への積立金の
補正
- 生活保護費国庫補助金
返還金 1億円
- ・前年度生活保護国庫補
助金の精算による返還
金の補正
- 障害程度区分認定事業
・サービス利用申請の増
加に伴う障害程度認定

- 調査及び認定審査会経
費の補正 96万円
- 障害者自立支援給付事
業
・利用件数の増加等に伴
う介護給付費及び訓練
等給付費の補正 5,317万円
- 障害者自立支援特別対
策事業
・新体系へ移行した事業
所の事業運営の安定化
を図るための事業経費
513万円
- 各種予防接種事業
・日本脳炎ワクチン接種
者の増加による予防接
種委託料の補正 300万円
- 県営土地改良事業負担
金
・県営ため池等整備事業
負担金 600万円
- 有害鳥獣捕獲事業補助
金
・捕獲数増に伴う補助金
の補正 120万円
- 公園管理費
・公園遊具等の修繕料の
補正 200万円



有害鳥獣の捕獲柵

- 公共下水道特別会計繰
出金
・給与改定等に伴う繰出
金の補正 △927万円
- がけ崩れ対策費
・井内中地区がけ崩れ防
災対策事業 311万円
- 小学校施設改修事業
・西谷小学校校舎耐震補
強改修工事
・小学校プール漏水改修
工事 6,267万円
- 中学校教育振興費
・中学校教育備品購入 100万円

議案に対する質疑

〔一般会計補正予算〕

問 昨年度の半分以上となった財政調整基金について本年度末の残高見通しは。

答 現時点では財政調整基金が28億2千万円、減債基金が9億5千万円の見込みとなる。

問 県内でも被害が増えている有害鳥獣の捕獲について、市の対策事業を問う。

答 高齢化により狩猟免許所持者が減っていることから、免許不要の罠いわなを使用する案などを提示。来年度に対策協議会を設置する方針を示す。

問 日本脳炎ワクチン接種者が増加になった要因は。

答 22年に新しい乾燥細胞性培養ワクチンが発売され、3歳の者のみの接種を勧奨する。

問 義務教育施設の実費に対して、補助金の額が低い理由は。

答 国の補助対象単価が実勢単価に比して低いことによるもので、市長会などを通して要望している。県補助の制度はないため、交付税算入のある起債などを充てている。

問 障害者福祉費の扶助費について、当初予算に対して一割以上の補正を組んでいる理由は。

答 22年4月から低所得者の一割負担が無料となり、件数についても増加傾向にある。

〔後期高齢者医療特別会計補正予算〕

問 歳入の保険料の補正で、普通徴収を増額する理由は。

答 所得が高額な方の場合、介護と後期高齢者医療の保険料合算額が年金額の2分の1以内とする特別徴収の要件に該当せず、高額な保険料である方が普通徴収になることがあるため、普通徴収は増額となる。

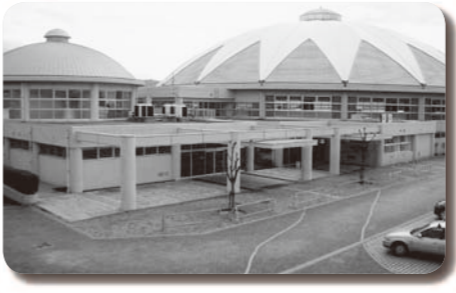
〔指定管理者の指定について〕

問 日々変化する時代に指定期間が3年から5年になっているのはどうしてか。

答 東温市の指定管理者制度導入基本計画では、3年から5年を基準としており、近隣市町の状況も参考に5年とした。

問 選定基準及び配点の中で、特に効率性において新規業者よりも既存業者が有利と思われるが。

答 この配点は、施設の目的等によって評価項目に反映できるようにしており、総合評価から選考委員会が妥当だと判断した。



指定管理施設のツインドーム

上程議案・議決結果

補正予算議案

「平成22年度東温市一般会計補正予算(第3号)」

「平成22年度東温市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)」

「平成22年度東温市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)」

「平成22年度東温市介護保険特別会計補正予算(第3号)」

「平成22年度東温市公共下水道特別会計補正予算(第1号)」

「平成22年度東温市水道事業会計補正予算(第2号)」

条例改正議案

「東温市職員定数条例の一部改正について」

「東温市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について」

「東温市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について」

「東温市教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正について」

「東温市職員の給与に関する条例等の一部改正について」

議員提出議案

「環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)に関する意見書について」

「尖閣諸島沖における中国漁船衝突事件に関する意見書について」

「北方領土問題の早期解決に関する意見書について」

「北朝鮮による拉致問題の早期解決に向けた条件整備を求める意見書について」

「大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める請願書」

「地域医療と国立病院の充実を求める請願書」

「内需を拡大して安定した雇用の創出を求める請願書」

決算審査特別委員会報告

平成22年10月7日、決算審査特別委員会を開催し、閉会中の継続審査となっていた平成21年度決算認定議案10件の審査を行った。

質疑及び審査結果

一般会計

全員賛成 認定

問 昨年の決算審査特別委員会で指摘のあった市税収率低下に関し、具体的にとどのような改善策を講じたのか。

答 東温市税徴収計画を策定し、①徴収体制の強化②悪質滞納者への徹底した差押処分③延滞金の完全徴収④不良債権処理の推進⑤愛媛地方税滞納整理機構との徴収連携強化⑥納税啓発の促進を主要施策として収率の向上に努めている。

問 職員の課長や係長への昇格基準はあるのか。

答 現在のところ昇級試験



クリーン運動には若い力が必要だ

その他の議案

「東温市公共下水道川内浄化センターの建設工事委託に関する協定の一部を変更する協定の締結について」

「指定管理者の指定について」

8議員 市政を問う!! 一般質問



12月定例会

行政改革の取り組みと職員数は適正か



片山 益男 議員

管理の適正化等の改革に
取り組んでいる。
問 今度は行政評価を
市民に説明する責
任があるが、いつどの様
な形で公表するのか。

水田企画財政課長
行政評価の概要、成果、
検討課題、今後の目標を
平成22年12月にホーム
ページ等で公表の予定。

問 情報通信の電算部門
の業務は、今後ま
ます、多様・複雑・拡大
化する。職員の研修を視
野に入れて補強し、独立
した組織にする考えは。

水田企画財政課長
電算のシステム更新、
地デジ共聴対策等で多忙
であるが、現行でいく。

**人事評価と定員適正
化の取り組みは**

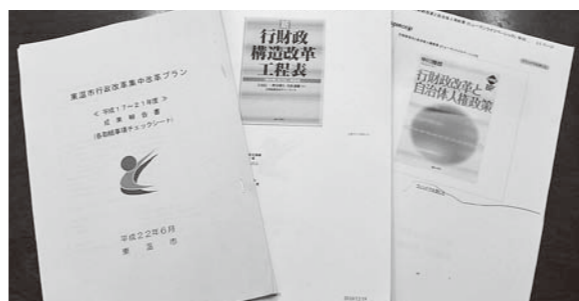
問 市役所に採用され
てから、採用試験
以降、昇級、昇任の試験
制度を行っているが今
後の計画は。

伊賀総務課長
試験重視の能率低下、
受験をしない職員の士気
低下などを考慮し、試験
制度の代替方法として、
人事評価制度の採用を検
討している。

問 各課は繁忙期の職
員を定数化してい
ないか。正職員346人、
パート・臨時職員376
人の人件費率は適正か。

伊賀総務課長
平成17年度の職員数
360人を平成22年度
346人と14人削減し
た。事務量の増加、新た
な業務の増大には嘱託職
員、臨時職員の配置で対
応しており、現在の職員
総数346人は類似団体
と比較して、少ないと認
識している。

問 この職員数の削減
を行った反動で、
臨時職員の採用の増員を
行っていないか。決算の
人件費23・8億円に臨時
職員の2・7億円は含ま
れていないか。



東温市の行政改革プラン

水田企画財政課長
臨時職員の賃金は決算
統計等のルールで人件費
ではなく、物件費に含ま
れている。

問 市の窓口で申請用
紙等の用紙に、東
温市長殿、高須賀功市長
様、東温市長様とか敬称
やネームが提出までに、
すでに印刷されているが
どう思うか。

伊賀総務課長
市民の利便性で印刷し
ているが、意識改革を考
慮し申請書用紙の敬称の
見直しを行う。

子育てや教育に関する相談窓口の一元化と相談体制の充実強化を



相原真知子 議員

問 子どもに関する相
談窓口が社会福祉
課、健康推進課、教育委
員会など担当分野ごと
に分かれており、相談業
務の円滑な連携に影響を
及ぼしている。「子育て」
や「教育」に関する相談
窓口の一元化と相談体制
の充実強化にどのように
取り組むのか。

高須賀市長
関係課の担当者会議に
より相談業務に対応して
いるが、更なる連携強化
を図るため、一体的な
サービスの提供が行えな
いか検討を重ねている。
また、総合相談窓口の設
置については、業務体制
を勘案しつつ、より良い
サービスが提供できるよ
う、調査・研究に取り組
んでおり、年度内に結論
が出ればと思っている。

**高齢者の孤独・孤立
化防止への取り組みは**

問 一人暮らしの高齢者
を見守るため、民生
委員に情報を提供して
いるか。

地域住民を主体とする
文化やスポーツ、その他
の地域活動に、より多く
の高齢者の参加を促すこ
とにより、「柔らかなネッ
トワーク」をつくり、地
域住民の自主性を尊重し
たこれらの活動に、自治会
や行政などが側面から支
援・関わりを持つことで、
高齢者の孤独・孤立化防
止対策に取り組む考えは

ないか。

加藤副市長

民生委員に対して、緊
急通報装置設置の決定や
災害時要援護者台帳作成
のための情報のほか、そ
の都度、活動に必要な最
小限度のものを随時提供
している。

高齢者福祉事業や介護
保険事業を通じて、各種
事業を実施しているが、
参加者が限られており、
今後の事業内容や参加促
進について、地域の役員・
老人会などと協議のうえ
対応したい。また、「人
のつながり」「ささえあ
い」のもと共助の広がり
が一番大切であり、行政
地域の様々な活動に、自
ら参加することが、高齢
者の孤独・孤立化防止に
つながるものと考えてい
る。

大石市民福祉部長

今年度、地域協議会は
6月29日に、事案に必要
な構成機関の関係者によ
る実務者レベルの個別
ケース検討会議は、14回
開催している。

相談員は一人、週二回
勤務となっているが、相
談・訪問を充実する体制
づくりを検討したい。



柔らかなネットワークづくりにひと役



近藤千枝美 議員

うつ病対策の取り組みは

本市の特定健康診断に、うつスクリーニングは取り入れているのかどうか。
うつ病の治療法として、薬物療法とともに、精神療法として「認知行動療法」がある。取り入れてはどうか。
厚生労働省の事業である「地域自殺対策緊急強化事業」の活用はどうか。

高須賀市長

市では、毎月1回医師による「こころの健康相談」、年2回専門医による「こころの健康講座」を開催するなど、予防・改善対策に取り組んでいる。

問 国民病ともいわれる「うつ病」は、有病者が約250万人と推測されている。自殺の大きな要因でもあり、対策は急務である。
鹿児島県さつま町では、自殺対策事業として、うつ病の正しい知識や相談の呼びかけ、啓発活動を行い、さらに「心の健康診査」(うつスクリーニング)を実施。5年前から比べて自殺者が約半数に減っている。

「心の診断」については、特定健康診断時の健診申込時に65歳以上を対象にアンケート調査を実施。今年度から、40歳、74歳に対して、市独自で「ストレスを感じますか」等の3項目のアンケート調査を実施。
「認知行動療法」は今年4月から健康保険の適用となった。今後、関係



平岡 明雄 議員

『命輝き緑あふれる東温市』 『水清く人と緑が輝く豊かな夢創造都市』

志津川地区整備計画のシンボルロードの緑化が消えたのはなぜか問う。

東村まちづくり課長

本市では、「東温市の緑の基本計画」を定め、「水と緑のハートニー都市づくり」を将来像として、緑化施策に取り組んでいる。現地研修やアンケート結果においては断念せざるを得ない時期もあったが、勉強会を重ね、将来を見据えた、緑豊かなモデル地区となるよう、市民と協働し、検討、研究を重ねつつ、進めて参りたいと思っている。

宮崎社会福祉課長

双葉保育所の太陽光発電のモニターが保育所にも関わらず、漢字だらけの表示が朝から夕方まで3ヶ月の間繰り返し表示されていた。民間ではお客様がお気に召さねば受け取りを拒否される場合もあるが、利用者をお客様と考えて業務にあたっていかを問う。

宮崎社会福祉課長

保育所のモニターは、



シンボルロードの緑化

児童向けでなく、保護者や来所者に対して周知、広報することを目的とした。現在は子供たちの絵や活動の様子を季節に合わせた内容で表示、有効活用に向けている。

高須賀市長

議案に関して、東温市の実態や実情に合わせ、課内で時間をかけ、研究・協議の上策定している。ホームページ等でも研究調査している。5年間で216名を研修に派遣している。職員が希望する専門的な実務を習得するステージアップ研修に参加させている。



佐伯 強 議員

電動車椅子も安心して通れる歩道に

問 愛媛病院沿いの市道に歩道はあっても車椅子も通れない。道路そのものの整備が必要ではないのか。歩道の側面にタイヤの擦った跡もある。拡張には病院との話し合いも必要では。

東村まちづくり課長

横河原10号線については、地域の皆様とワークショップを開催し、要望やご意見を伺っており、商店街の区間においては歩道や拡張は困難との声

が多いものの愛媛病院から県道森松重信線交差点までについては、歩道設置の要望が多く出ている。医学部周辺整備計画を国の補助を受けて進めているが、今後この計画に横河原10号線を追加する方向で検討し、市民の安全のため精いっぱい努力する。

歩行困難な介護認定者に福祉タクシー券を

問 身体障がい者手帳1、2、3級までの人には、年間24枚のタクシー券の配布があるが、高齢者が介護認定を受け、歩行も困難な一人暮らしの人ぐらには、福祉タクシー券を配布すべきと思うが、どうか。

宮崎社会福祉課長

過疎化の進行や高齢化の進展により、移動制約者の福祉輸送サービスに対するニーズも急増している。関係機関と連携・協議しながらよりよいサービスが受けられる手段について検討してゆく。

水道料金はどうなる

問 多額の費用をかけた水道事業だが、その分を全部水道料金に賄うやり方は、いくら独立採算制とはいえ、自治体本来の姿ではない。減価償却の運用の仕方、病原性大腸菌対策、膜ろ過施設、耐震対策、老朽化等については、一般会計でいくらかは補助できるのではないか。

渡部水道課長

市債の償還金等にかかる一般会計からの繰入金を除いて必要な費用は原則使用者の料金収入で賄うことになっている。累積赤字も増加し、単年度収支を黒字にして赤字を減少したい。水道運営委員会の答申に基づいて進めて参りたい。

ワクチン接種で市独自の対応を

問 子宮頸がん等ワクチン接種の臨時特例交付金事業が決まったが、内容と、これを機会に市独自の対応もどうか。

林健康推進課長

県内市町に対する説明会が今月21日に開催予定。詳細が示され次第検討したい。接種対象者は子宮頸がんは中学1年から高校1年までの女子、ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンは0歳から4歳までの乳幼児である。次世代を担う子供たちの健康を守ることは非常に重要といふことは十分に認識しており、関係各課と協議してゆく。



期日前投票所案内板

問 期日前投票は、全国的に年々増加傾向にある。指定された投票所へ行き、投票日当日に行けない理由を「宣誓書」に記入し、提出することになっている。投票所入場券の裏面に宣誓書がすでに印刷されている自治体がある。自宅に記入

し、投票所へ持参できるので事務手続きもスムーズに進み、投票率もアップしている。
高齢者などの心理的負担への配慮として、自宅に宣誓書に記入ができるよう対応してはどうか。

伊賀総務課長

期日前投票所において選挙当日よりも円滑な投票ができるよう、職員が宣誓書の記入の仕方など丁寧に説明している。特に、障がい者や高齢者には、補助職員を増員するなど、待たせないように配慮している。
投票所入場券のはがきの裏面に宣誓書を印刷することにについては、有権者が混乱する恐れもあるため、当面は、現在の方法で続ける。

期日前投票手続きの簡素化について

医療機関と協議・検討したい。高度な専門知識が必要になることから保健師のスキルアップのため、研修に参加させたい。
地域自殺対策緊急強化事業は、平成23年度に実施を検討しており、有効な普及啓発媒体の作成や、効果的な普及啓発事業のための関係職員研修会の開催を考えている。



議員 渡部 伸二

正確な情報は、市民の自己決定力を高め、減災のまちづくりに寄与

活断層の正確な位置を、市民に隠してどうする

問 本年(2010年)12月に、市内のすべての家庭に配布された新しい「地震防災マップ」に、地震の震源となる「活断層」について記載がなされたことは評価したい。しかし、東温市内を東西に縦断する活断層線の位置が、防災マップでは、実際の位置よりも大きく、極めて不正確なもの

になっている。おまけに、活断層の位置を現場で確認できないように、地図を加工している。なぜこれほど活断層の地図をわかりにくくしたのか。この間違った断層線は何を参考に記載したのか。

伊賀総務課長

活断層線の記載は、愛媛県地震被害想定調査報告書に掲載の緯度および経度で表示された活断層の位置を地図に落としたものであり、転記ミスはない。

給食に低温殺菌(バスターアライズド)牛乳を

問 現在学校給食で提供されている超高温殺菌牛乳(130℃2秒間)は、国際基準からいうと保存用の特殊牛乳であり、飛行機の機内食、輸出用、登山や旅行の携帯用などの用途でしか飲まれない低品質の牛乳である。給食により質の良い低温殺菌牛乳を使用してほしいがどうか。

菅野給食センター長

低温殺菌牛乳は、タン



議員 大西 佳子

警察官常駐要請は安心安全な市民生活

問 新しくできた重信交番の警察官常駐要請はできないのか。

高須賀市長

重信交番には、週5日ほど午前10時から午後4時30分の間、空き交番対策として、地域住民などの相談に応じる「交番相談員」を配置、警察官OBとしての豊富な経験を活かし、地域案内、落とし物、被害届の扱いまで幅広く、市民からの問い合わせ

合わせに対応して頂いている。警察官、交番相談員が一時的に不在になったとき、交番に電話して対応がない場合、南署への転送システムで連絡ができるよう早急に要望したい。

高須賀市長

地元区長からの申請に基づき、支柱に設置する場合は1灯3万円、既設の電柱等に設置、老朽化に伴う器具の更新は、1灯1万円補助。平成21年度の補助は38万円。四国電力から平成19年以降、毎年15灯の寄贈を受けている。

太陽光発電システム設置率、県内ダントツ1位

問 地球温暖化対策機器設置費の補助金について。

菅野市民環境課長

平成13年度から実施、制度開始から10年間設置総計391基。1基当たりの設置補助金は、1kw当たり4万円、4kwを上回る。補助金総額は6,190万円。予算の許す



新しくできた重信交番

限り推進して参りたい。

池川消防長

携帯電話が普及した現在、これを利用して消防による障害者への気象、災害情報の提供のみならず、一般市民への各種イベント開催等の情報も合わせて、情報提供できるような仕組みを検討したい。

パク質の熱変性が抑えられ、牛乳本来の風味を残すといわれているが、消費期限が、5日と短く、温度管理を厳しくする必要があり、またコストが高くなることもあり、給食への導入は難しい。

消防長には、現場経験が豊富で即応力のある消防現職を任命すべき

問 一般的な常識として、災害現場における救助・消火活動等の指揮・監督には、現場経験に基づく瞬時の動や判断力が求められる。また、過酷な現場状況のなかで、命がけで活動にあたる消防隊員の心情、疲労度、士気への理解と共感、組織のトップには欠かせない。したがって、自ら現場経験のある消防現職が消防長に就任することが望ましいのではないか。

加藤副市長

消防長の任命については、消防組織法、および政令で任命資格が規定されている。今後においても、一般行政職員、消防



【その他の質問】
・市長会での特定知事候補応援表明の是非
・独居世帯の単独処理浄化槽の管理費問題
・民生児童委員へ必要十分な情報開示を



議員 山内 孝二

市政は、「誰のために、何のためにどうする」というマーチャンジング概念が必要

観光行政の役割は

問 観光協会との連携が重要であるが、できていないのではないのか。

大北産業建設部長

観光事業の企画・実践機能が期待されているが、財源や組織が脆弱で行政との両輪となり得ていな



新しくできた重信交番

堀内生涯学習課長

観月祭での市民ボランティア、東温アルプスでのさくら山行会有志の活動などいいモデルができており、今後市民と行政の協働体制を進めたい。

スポーツ振興のまちづくりを

問 スポーツ振興基本計画の成果と進捗状況は。

堀内生涯学習課長

様々な競技、各種大会、講習会、また体育協会やスポーツ少年団の活動を通じて、計画の趣旨は市民に浸透している。計画の達成は平成29年の愛媛国体に定めている。

市民主導のまちづくりに向けて観光行政の方向を示せ。

今後重要なパートナーとして連携体制を強化したい。

堀内生涯学習課長

受賞者は教育長の推薦で選考委員会の審議を経て決定し、市長が記念品を添えて表彰している。広報誌はもとより番町記者クラブにも情報を提供している。

地域ブランドとして、スノボー(アクロス重信)をどう位置づけ、市のスポーツ振興策の視点でどの様な支援策が有効と考えるか。

今後、懸垂幕についても検討したい。

堀内生涯学習課長

バンクーバー冬季オリンピックで活躍した青野令選手を育てた施設として名を馳せ、今後この様な選手が育つ施設として期待は大きく、無くてはならない施設である。施設を維持させるための効果的な支援策について市役所内で検討しているが、いい案は見つからない。



愛媛・東温ブランドとしての発信支援を

高須賀市長

市長・職員、また商工会と連携して景気動向の調査、情報提供をやっていくが、「とっおん短観」の視点も今後検討したい。

「とっおん短観」の実施

問 市内の商店、企業から活きた情報を得、適切な指導・対応を実施するために「東温市短期経済観測調査(とっおん短観)」を実施してはどうか。

高須賀市長

ただ、ソフト面で現在の支援策を充実させながら、特にハーフパイプ施設については、本県のスポーツ振興と観光拠点となるよう考えていきたい。

討論



反対討論

安井 浩二

◆議案第62号「指定管理者の指定について」に反対討論する。

総合評価における選定基準及び配点は、公平性15点、効果性30点、安定性25点、効率性25点、その他5点となっている。指定管理者制度の導入目的の大きな本柱は、「サービスの維持向上」と「経費削減」である。にもかかわらず経費の削減を評価する「効率性」の配点が25点というのは、あまりにも低すぎる。サービスの維持向上と経費削減に係る配点を50点、50点にすべきである。

指定管理に係る経費は市民の血税で賄われており、もっと真剣に経費削減に取り組むべきである。指定期間が5年間というのは、世の中の変動が激しい現代においては、あまりにも長い。今、この議案が可決されれば見直しは5年後となるため、断固として反対する。

反対討論

渡部 伸二

◆「尖閣諸島沖における中国漁船衝突事件に関する意見書案」に反対する。

琉球と中国との往来は、冊封使の派遣にはじまり、500年間交流が続いた。この海上交易の航路目標として中国領の島嶼が明確に識別されていたことは古文書に明らか。日本の無主地先占の主張には無理がある。

◆「北朝鮮による拉致問題の早期解決に向けた条件整備を求める意見書案」に反対する。

意見書に書くべきことは、「条件整備」などという意味不明な言葉ではなく、経済制裁の緩和と日朝平壤宣言の履行、粘り強い対話と交渉の実施である。

◆「議会改革特別委員会を設置を求める」議員提案を、再び「継続審査」とした議運の決定に反対する。二度にわたる「継続審査」は、事実上の否決である。議会改革への議運委員の意識の低さは嘆かわしい。

賛成討論

山内 孝二

◆意見書案第12号「北朝鮮による拉致問題の早期解決に向けた条件整備を求める意見書」について1日も早い拉致被害者の救出を願って、賛成の立場で討論する。

平成14年に金正日が拉致を認め、5人の被害者が帰国できただけで、その後の進展はなく、被害者・家族はまさに生き地獄が続いている。

先日、愛媛拉致議連主催の「県選出国会議員との意見交換会」で訴えた。急先鋒となって戦ってもらう国会議員に強く訴えると共に、今私達・私自身に何ができるのか、何をしなければならぬのかを問う中で、思いを込めてこの意見書を提出し、国においては、国・地方・国民が一体となって拉致解決のために、協力できるような条件整備を早急に行うことを強く要望するものである。

11月臨時会

11月臨時会が11月16日に開催され、6件の議案(人事案件)について審議を行なった。

また、申し合わせ任期(2年)満了に伴う正副議長選挙、常任委員会委員・議会運営委員会委員の任期(2年)満了に伴う新しい委員の選任(議長指名)並びに特別委員会委員の辞任に伴う委員の補充選任が行われた。

上程議案・議決結果

人事案件

「東温市教育委員会委員の任命について」
遠富 英子氏(田 窪)の任命(新任)
同意

「東温市固定資産評価審査委員会委員の選任について」(3件)
東村 賢三氏(南野田)の選任(再任)
菅野 貢氏(北方)の選任(新任)
武智 由貴氏(志津川)の選任(新任)
以上3件全て同意

「東温市監査委員の選任について」 不同意
「東温市農業委員会選任委員の推薦について」
山内 孝二氏(牛 刈)の推薦 推薦

新しい議会・委員会の構成は次ページに掲載のとおり。



新しくなった議会・委員会の構成等

議長 大西 勉

副議長 玉乃井 進

総務文教委員会 6人

- 委員長 山内 孝二
- 副委員長 丸山 稔
- 委員 佐伯 強
- 大西 佳子
- 佐伯 正夫
- 安井 浩二

厚生委員会 6人

- 委員長 細川 秀明
- 副委員長 相原真知子
- 委員 玉乃井 進
- 桂浦 善吾
- 伊藤 隆志
- 近藤千枝美

産業建設委員会 6人

- 委員長 片山 益男
- 副委員長 平岡 明雄
- 委員 三棟 義博
- 大西 勉
- 渡部 伸二
- 酒井 克雄

議会運営委員会 7人

- 委員長 安井 浩二
- 副委員長 山内 孝二
- 委員 片山 益男
- 桂浦 善吾
- 佐伯 正夫
- 丸山 稔
- 細川 秀明

市街地見直し・地域活性化等調査特別委員会 6人

- 委員長 佐伯 正夫
- 副委員長 安井 浩二
- 委員 山内 孝二
- 近藤千枝美
- 細川 秀明
- 平岡 明雄

議員定数等調査特別委員会 9人

- 委員長 佐伯 正夫
- 副委員長 細川 秀明
- 委員 佐伯 強
- 大西 佳子
- 山内 孝二
- 三棟 義博

農業委員会選任委員1人

- 安井 浩二
- 丸山 稔
- 相原真知子

《補充選任委員》

山内 孝二

議会を傍聴しませんか

市議会では1人でも多くの皆さんが傍聴され、議会活動を通じて市政に対する理解を深め、市政に参加されることを望んでいます。

市街地見直し・地域活性化等調査特別委員会報告(第3回)

当委員会では、地域の活性化やより豊かな市民生活の実現につながる提言を行うため、真剣な議論を重ねており、先に開催した委員会では、「とうおんまちづくりプラン」の進捗状況や企業誘致による地域活性化に向けた基盤整備等について調査研究を行った。

この中で唯一明るい材料は、志津川地区(愛大医学部西側)約21・5haの線引き見直しが挙げられる。

構想から十数年の歳月を要したが、関係者の努力により、ようやく国・県等との協議が終了し、平成21年9月に市街化区域に編入された。

さらに理事者からは、平成23年度に予定されている第五回定期線引き見直しにおいて、野田南地区4・6ha、見奈良東地区15・8ha、川内工業団地南地区10・0haの3箇所について、市街化区域に編入するという方向性

が示された。

しかし、これでは不十分であり、川内インターチェンジ周辺地域の市街化区域への編入等を含め、検討すべき課題は山積していると思われる。

《視察研修報告》
委員会では経済産業省「企業立地に頑張る市町村事例集」において、地域資源である農業を活用した農工連携型の企業誘致活動の取り組みが紹介されている新潟県妙高市で視察研修を行なった。

妙高市長は民間企業出身であり、その間に培った自らの人脈をフルに活かしたトップセールスにより企業誘致で実績を挙げている。特に土木建築関係に積極的にアプローチを行った結果、全国初となる株式会社農業参入等の成果を挙げている。

続いて訪れた「自治体総合フェア」では、小樽市職員時代に「スーパードキュメント」と評され、その後、農林水産省大臣官房

企画官に迎えられた木村俊昭氏の講演を聴講した。木村氏は、地域活性化やまちづくりについて、プラス思考で必ず「できない」を「できる」に変えることができる、「ダメだ」とあきらめるにはまだ早いと熱く語りかけた。「意欲とやる気さえあればまちは必ず元気になる。」という言葉は、シリと胸に響き、我々が目指していることに間違いはないと意を強くした。

まちづくりの基本は、顧客の求める「ニーズ」をしっかりと掴み、場所(受け皿)を提供することにある。

坂本龍馬は「世に生を得るは事を成すにあり。」との名言を残している。これは、人は何かを成すためにこの世に生を受けたという意味であるが、豊かで元気なまちづくりの実現に向けて、委員会において引き続き調査研究を重ね、委員会として地域活性化に向けた提案をしなければならぬと決意を新たにしたい。

〔委員長 佐伯 正夫〕



委員会報告

総務文教委員会

委員会における審査概要

◎一般会計補正予算について

問・コミュニティ施設整備の対象はどこか。
答・「志津川南上地区みんなの広場」と「田窪団地集会所」の遊具修繕・撤去、「南方東の竹の鼻集会所」の遊具撤去及び牛淵団地の放送設備の修繕・取替えである。

問・西谷小学校校舎耐震補強工事の金額と入札方式は。
答・22年度の継続工事で総額は、1億4,868万円の予算を見込んでおり、一般競争入札となる。

◎職員定数条例の一部改正について

全員賛成 原案可決

問・本来の消防力での基準及び県下の基準から見ると、何人となるのか。
答・当市は現在48人であるが、消防力の基準から見れば78名となり、県下の平均充足率73%から見れば、57名である。

◎指定管理者の指定について

賛成多数 原案可決

問・この導入目的は、サービスの向上と経費の節減と理解しているが、経

費を評価する配点が100点中25点は低すぎないか。経費に重点を置き、配点を50点とすべきではないか。
答・選定基準は条例で決められており、選定の度に配点を変えることは業者にとって公平性を欠くと判断した。

また、経費に配点を置き過ぎることは、単に入札の形に近づき、総合的に評価しようとするプロポーザル方式の効果薄れることになる。

問・説明会に参加したのは3業者で、実際に申請したのは2業者ということだが、もっと申請者を増やす必要があったのではないのか。
答・配点のウエイトと併せて、募集が少ない場合の対応についても次回検討をしていきたい。

◎尖閣諸島沖における中国漁船衝突事件に関する意見書案について

全員賛成 全案可決

主な意図

①歴史上、また国際的にも我が国固有の領土であり、周辺の地下資源が豊富なことから中国が主張しているが、国際世論に訴えることが必要である。
②弱腰外交でなく、特にビデオについては内外に訴えるということ絶対で公開すべきである。

◎北方領土の早期解決に関する意見書案について

賛成多数 原案可決

主な意図

①北方領土という領土はなく、これは千島列島全体の問題であり、北方4島だけを戻せという問題ではない。
②尖閣諸島の問題が出てから、北方領土へのロシア大統領の訪問ということになった。微妙で、したたかな外交ということでは日本の外交は実に情けない。この意見書は当然出すべきである。

◎北朝鮮による拉致問題の早期解決に向けた条件整備を求める意見書案について

賛成多数 原案可決

〔委員長 山内 孝二〕



耐震補強工事が予定されている西谷小学校

厚生委員会

委員会における審査概要

◎一般会計補正予算

問・障害者福祉費・扶助費の移行時運営安定化事業の内容は。
答・移行時の運営安定化事業で、平成24年の3月末までの措置になっている。旧体系から新体系へ移行する時点で申請がなかったが改めて3施設から申請が出てきたので今回補正をする。3施設は、東予希望の家、いだい清風園、久谷である。

◎後期高齢者医療特別会計補正予算

問・普通徴収の収納見込が97%となっているが、それを下回った収入であった場合、不足分を一般会計から繰り入れて支払うのか。
答・保険料の徴収率が下がった場合においても、広域連合に納付するのは徴収した保険料であり、不足額を一般会計で補い納付する必要はない。

◎国民健康保険特別会計補正予算

◎介護保険特別会計補正予算
以上2件 全員賛成 原案可決
◎大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める請願書
◎地域医療と国立病院の充実を求める請願書

◎後期高齢者医療制度の廃止に関する
以上2件 賛成多数 継続審査

意見書の提出を求める請願書
◎最低保障年金制度創設を求める意見書提出の請願書

以上2件 不採択

請願審査における主な意見

◎病院の経営状態が大変厳しい中、組合と病院との話し合いをした上で議論すべきであり、医師を増やすだけでは解決しない問題がある。
◎11月18日の「事業仕分け」では、第3者のチェックを受けて、きちんと説明のできる体制を求められており判定不能となっている。

◎2013年度に導入予定の新たな高齢者医療制度の最終報告案を知る限り、高齢者医療制度は確実に変わってきている。
◎全額国庫負担による最低保障年金制度とあるが、財源の裏付けや個人年金などの自助努力も必要だ。

〔委員長 細川 秀明〕



委員会審査の様子

産業建設委員会

委員会における審査概要

◎一般会計補正予算

問・ため池等整備事業（上村山之神地区）について。
答・上村山之神池は平成19年度から「県営ため池等整備事業」で改修中である。なお、市内にはため池が103箇所あり、「県営ため池等整備事業」や「県単独補助事業」等で約半分程度が改修済み、または改修中である。

◎有害鳥獣捕獲事業について。

答・捕獲奨励金は、猟友会の銃器捕獲とわな捕獲に対して支出している。個人等に対しては、電柵等の侵入防止対策に対し、50%の補助を行っている。有害鳥獣が増えた理由として、①人工林の拡大・広葉樹林の減少等による餌不足等の生育地である山林の環境変化、②過疎化に伴う里山の荒廃、③栄養状態の改善等の生育環境の好転による多産化と長寿命化等が考えられる。
被害が増加している現状から、平成23年度に有害鳥獣被害防止対策協議会を立ち上げる計画の予定がある。

問・愛大医学部周辺整備事業における見奈良1号線道路改良工事について。
答・県営1号水路の浸水対策に対処し、道路幅員も確保できる事から道路改良工事を併せて進めることが効

率的である。なお、横河原地区や見奈良地区の全体的な道路計画については、人家密集地のため、建築時の道路後退により幅員を確保している現状であり、全体計画には至っていない。

◎ふるさと交流館特別会計補正予算
◎公共下水道特別会計補正予算
◎水道事業会計補正予算

以上3件 賛成多数 原案可決

◎公共下水道川内浄化センターの建設工事委託に関する協定の一部を変更する協定の締結について

全員賛成 原案可決
◎環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）に関する意見書について

賛成多数 原案可決
◎内需を拡大して安定した雇用の創出を求める請願書 全員賛成 採択
◎環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）への参加交渉は行わないことを求める請願書 みなし採択

〔委員長 片山 益男〕



審査風景



保や社員が住みやすいまちであることが決め手となり、平成4年に地元地権者のご理解により現在の東温市南方に松山支店を開設しました。その後、地域密着型全国ネットを展開する卸商社を目指し、全国各地の卸企業と合併して(株)あらたを設立し、現在に至っています。

◆貴社の事業コンセプトをお聞かせ下さい。

「世の中のお役に立ち続ける」という奉仕の精神を持って流通業として日用品・化粧品等の卸機能を通じてお客様に満足を与え、また地域社会やメーカー様の発展に寄与するよう努力しています。また、地域の方々や販売店様に情報提供を行い、より良い付加価値のある商品を使って頂けるように商流や物流に力を入れていきます。

◆今後の展開と抱負をお聞かせ下さい。

少子高齢化や環境対策の商品もたくさん取り

◆業界大手が東温市に立地し、平均年齢30歳の従業員のうち、半分以上を東温市出身者が占めるなど、地元雇用にも積極的な地域に密着した企業です。東温市の活性化を支える全国卸業として、更なる発展が期待されます。

【会社概要】

- 株式会社 あらた
- 設立 平成14年4月
- 資本金 50億円
- 従業員数 約2,800名
- （うち松山支店約70名）
- 所在地 東温市南方 2101
- 電話 (089) 966-16800

陳情・要望

昨年の12月15日、河之内・則之内東・則之内西・井内の4区長連名により「農作物に対する鳥獣害防止対策支援」に係る要望書が、議長に提出されました。

同日、上林地区より「有害鳥獣の駆除、林道上林河之内線の早期改修」に係る陳情書が、議長に提出されました。



地区代表者による議長への陳情

視察・研修

■千葉県木更津市議会
1月13日「太陽光発電システム・太陽熱高度利用システム補助制度」について4人の議員が視察に来訪。

3月議会の日程(予定)

16 (水)	11 (金)	10 (木)	9 (水)	8 (火)	4 (金)	1 (火)
閉会	各委員会	各委員会	一般質問	一般質問	質疑	開会

議会ライブ中継

「市のホームページ」や地区公民館などに設置されている「地域イントラネット」で議会開会中、生中継がご覧になれます。(市ホームページアドレス)
<http://www.city.toon.ehime.jp/gikai/>



● 早いもので年明け、早くも立春を迎えた。今回で第20回の議会、たよりを発行することができた。当市の議会たよりは全国の何処と比較しても、勝るとも劣らない立派な議会たよりであると自負している。これは、議員一人ひとりの努力の賜物と思っている。何はともあれ、市民にとって見やすく読みやすくをモットーに、市民からも愛される議会たよりの編集に努めたいと考えているので、今後ともいつそこのご愛読をお願いしたい。(片山 益男)

発行責任者	大西 勉
編集委員	
委員長	片山 益男
副委員長	近藤千枝美
委員	平岡 明雄
委員	玉乃井 進
委員	桂浦 善吾
委員	伊藤 隆志
委員	細川 秀明
委員	大西 佳子
委員	佐伯 正夫
委員	安井 浩一
顧問	
顧問	
顧問	
表紙撮影	片山 益男・近藤千枝美
	桂浦 善吾・安井 浩一